

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06203
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	<input type="checkbox"/> 対面 (本学広島キャンパス) <input checked="" type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	多文化共生による地域づくりを考える					
	番 号	番 号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員	(1) 草薙邦広 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 准教授) (2) 目黒将史 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 准教授) (3) 和田 崇 (地域創生学部地域創生学科地域文化コース 教 授)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 5 年 7 月 29 日 (土) ~ 令和 5 年 7 月 29 日 (土) 9 時 00 分 ~ 12 時 20 分 (60 分 × 3 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	50 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>県立広島大学・地域創生学部・地域文化コースでは、さまざまな文化的背景をもった人々がどのように共生していくか、多様な地域の歴史・文化をどのように継承し活かしていくかを学ぶことができます。本講義では、3名の講師が、地域における国際化や多文化共生の実現に向けて、その基盤となる英語によるコミュニケーション、非日本語母語話者との日本語によるコミュニケーション、そして地域の歴史・文化の学習・発信・活用の方法についてお話しします。</p> <p>(1) 草薙邦広「もしも宇宙人がやって来たら？」 (9:00-10:00) 「宇宙人が地球にやってきた」という想像をしてみましょう。彼らはどのように我々とコミュニケーションをするのでしょうか？英語を話すのでしょうか？または日本語？はたまたモールス信号のような数学的な仕組み？本講義では、上記の想定から、言語やコミュニケーションとはどのようなものか、そして多言語主義、複言語主義という観点から、これからの地域のあり方について考えます。</p> <p>(2) 目黒将史「けんひろで『平家物語』を読む」(10:10-11:10) 『平家物語』はどのように読まれてきたのでしょうか。実は、冒頭の「祇園精舎」から末尾の「灌頂巻」まで通して読むことは、ほとんど行われていませんでした。また、「広島」という地域で『平家物語』を学ぶと、地域に根ざしたテキスト、物語を伝える必要性が見えてきます。『平家物語』を題材に、県立広島大学でどのように古典を探求できるのかについてお話しします。</p> <p>(3) 和田 崇「エスニックタウンを考える」(11:20-12:20) みなさんは横浜中華街や東京・新大久保のコリアンタウンに行ったことがありますか。このように在留外国人がホスト国の住民から分離・集住している特定のエリアをエスニックタウンといいます。こうしたエスニックタウンがどのように成立したのか、それはどのような構造・特徴をもっているのか、またそれらが近年どうして注目を集めているのかを地理学の観点からお話しします。</p>					
7. 受講料	不要					
8. 別途負担費用	不要					
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など なし					
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講になる場合があります。